



中村隆院長に叙勲の栄誉 瑞宝双光章（保健衛生功労）



11月3日 秋の叙勲が発表され、嬉しい便りがもたらされました。院長中村隆先生に瑞宝双光章です。この叙勲は67年前の病院開院以来、継続してこの地の医療への貢献が評価されたものであり、長きに渡り病院の発展を応援してくださった皆様に深く御礼申し上げます。

当院は昭和31年に開院し、戦後のまだ医療制度が整わない頃から地域医療に邁進して参りました。幼少時から地域医療に奮闘する先代の姿に接し、日本が復興し高度成長を果たす中で、外科醫院から中村病院に発展する状況を見て育ちました。医師となり大学病院などでの研鑽を積んだ後、墨田区での医療に参加し、向島医師会・墨田医師会、医師会看護学校、東京都病院協会などで活躍。平成12年に院長となり、あらゆる病気に立ち向かい、“救急から療養まで一貫した医療”をモットーに地域医療の向上に努めてきたことが保健衛生功労として評価されました。

瑞宝双光章は私達職員にとりまして大変な誇りであり、90歳で亡くなるまで半世紀に渡り病院を築いた故先代中村晃一理事長を始め、病院の発展に貢献された人々に深く感謝申し上げます。

中村病院の歴史の間には山あり谷ありの厳しい時代がありましたが、今後もさらに精進し、さらなる発展を目指したいと思います。

